

千二小 藤田先輩

そしてマクドナルドハウス

吹田市長 阪口 善雄

故郷吹田のために・・・力強い約束

「故郷吹田のために、やりましょう」日本マクドナルド社の創業者で、当時会長の藤田 田（ふじた でん）さんは、静かな口調ながら、力強くうなずいてくれました。

五年前、私が千里山のちさと会長の総会に出席した際、東京から来会されていた我が母校千里第二小学校の先輩でもある同氏にお願いした時の言葉です。

幼い患者のために何ができるか

お願いというのは、私が市政をお預かりしている吹田市内で、医療分野において大きな貢献をいただいている国立循環器病センターに關することでした。同センターへは、世界的先端医療技術を頼って、全国各地から病気に悩む人々が来院されます。

その中でも、心が痛むのは幼い患者たちです。子どもたちの入院が長期に及んだ場合、親たちは近郊に宿泊場所を定め、同センターに通うこととなります。子どもの健康についての不安や、治療費、さらにこれから宿泊費もかさみ、二重三重の経済的な負担がのしかかるのです。

確保できる宿泊場所も、距離的に便利とはいえない状況で、同センター側からも、非公式ながら、「せめて近くに宿泊施設があれば」というご意見が、寄せられておりました。

我が子の難病、加えて生活の圧迫等々、涙ながらに訴えるお母さん方の、深い悩みを聞いた私は、「ヒューマニズムの視点からも放つてはおけない」と、心が痛みました。行政の長として何をすべきか悩む日々でもありました。

先輩の言葉に感激、感動

こんな時、耳にしたのが藤田先輩率いる財団が、採算を度外視して進めておられる社会貢献事業です。全国の主要な小児病院の近くに、親の宿泊施設を、「マクドナルドハウス」として建設し、超安価で提供するという計画でした。



ドナルド マクドナルド ハウス おおさか・すいた

ハウスとは・・・自宅から遠方の病院に入院している子供とその家族が利用できる宿泊施設です。ハウスのコンセプトは、我が家のようにくつろげる第二の家。国立循環器センターの斜め向かいに建てられ、18家族が滞在することができます。キッチン、リビング、ダイニング、そしてプレイルームが備わった大きな家です。
〒565-0875 吹田市青山台 4-31-20 TEL 06-6836-6551 一泊@1000円

そこで、ちさと会でお会いした機会に意を決し、直接、吹田市への誘致をお願いすることにしたのです。その結果、冒頭のうれしいお言葉をいただくことができました。

その後も何度かお会いする機会に恵まれましたが、世界的経営者としての厳しさや、人情の機微に通じたやさしいお人柄に触れることができ、大いに勉強になりました。本当にすばらしい先輩を持っていることを、心から誇らしく思ったものです。

この頃、藤田先輩は会社経営でご苦労しておられた時期であり、その後体調を崩されたこともあって、平成16年4月に、不帰の人となりました。しかし、まるで遺言でもしておられたかのように私との約束は、財団に受けついでいただいております。

守られた約束

その後、紆余曲折を経たものの、大阪府から用地提供を受け、「ドナルド・マクドナルド・ハウス おおさか・すいた」として、昨春秋（平成17年10月）に、青山台でオープンしました。

この間吹田市も、様々な形で、協力させていただきましたが、利用者である子どもたちとその親から、お礼

の言葉を伝え聞くことに、本当にうれしくなります。また、移転話が出ていた同センターの現地建替えが、昨年12月に決定しましたが、この選択にも少なからぬ影響を及ぼしたものと推測しております。

ちさと会のつながりに感謝

市長に就任させていただいて、はや七年。阿部弘さん（元宮内庁正倉院事務所長）や、高村薫さん（直木賞作家）など、同窓の方々と、仕事でお会いするたびに、ちさと会や、千里山会の話に花が咲きます。

藤田先輩との出会い、約束、そしてマクドナルドハウス建設へと進んだ過程は、千二小というつながりがあったからこそ、実現したものといえるでしょう。

病気で苦しむ親子の苦労が、少しでも軽減できることを祈るとともに、この裏話を、ちさと会の仲間だけに知ってもらいたくなつて、この一文をしたためることにしました。

藤田先輩のあの暖かいまなざしと、ちさと会、千里山会という固い絆を思い起こしながら・・・。

（三三回生）